

三井住友カード株式会社
合同会社ユー・エス・ジェイ

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン&三井住友カード
金融教育&職業体験ワークショップ開催
タッチ決済を通じて社会貢献、300 万円を寄付贈呈
～ 施設卒業後の自立支援に向け、多面的にサポート ～
2025年11月16日（日） 大阪府・児童養護施設の中学生約100名を招待

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（運営：合同会社ユー・エス・ジェイ）とコーポレート・マーケティング・パートナーの三井住友カード株式会社（以下、「三井住友カード」）は **2025 年 11 月 16 日（日）、第 3 回目の「金融教育&職業体験ワークショップ」を開催**しました。

未来を担う若者たちが、これから社会の中で生きる力として必要な金融リテラシーや社会体験を身につけることの重要性から両社共同で企画された本ワークショップは 3 年目を迎え、今回は府内の児童養護施設の中学生約 100 名をパークへ招待し、オリジナル講座や職業体験プログラムを実施しました。



このワークショップは、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンが大阪府との間で締結している包括連携協定に基づき実施する社会貢献活動の一端を担うもので、大阪府の多大なる協力のもと開催しています。

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンと三井住友カードの両社は、2023 年より児童養護施設の子どもたちを対象にワークショップを実施してきました。“お金の大切さ”を楽しく学ぶ「金融教育ワークショップ」を 23 年に初開催以降、24 年はさらに「クレーの職業体験」もコンテンツに加わり、これまでの開催で児童養護施設の

小学生のべ 200 名が参加しました。3 回目の開催を迎えた本年は、金融リテラシーの必要性がより高まる「中学生」を初めて対象とし「社会で役立つお金の知識」を学べるオリジナルの「金融教育コンテンツ」を企画しました。また未来の職業選択を見据え、パーク内で働くクルーの「職業体験プログラム」も昨年から **2 倍となる 14 職種に拡充して実施**。当日は、家族から離れて児童養護施設で生活する大阪府内の中学 1 年生から 3 年生までの生徒約 100 名が参加し、**世の中には多数の仕事の選択肢、やりがいがあることを知り「自分が好きなことや得意なことは何か？」「将来どんな仕事をしたいか？」と考えるきっかけを提供**しました。

「タッチハッピー」プロジェクト 寄付金贈呈式を同時開催
児童養護施設卒業後の自立支援サポートのために 300 万円を寄付



イベント当日には、三井住友カードから大阪府内の児童養護施設への寄付金贈呈式も執り行いました。**社会での自立支援に向けて、子どもたちを中長期的にサポートしていきたいという両社の思いから、今年初めてユニバーサル・スタジオ・ジャパン内で「タッチハッピー」プロジェクトを始動**。パーク内で三井住友カードのタッチ決済 1 回ごとに 50 円を寄付金として三井住友カードが拠出し、2025 年 10 月 1 日（水）から 11 月 3 日（月・祝）までの対象期間中に集まった**寄付金は総額 300 万円に達しました。本寄付金は大阪府**

の自治体から府内児童養護施設に贈られ、児童養護施設を退所する子どもたちの自立支援や生活基盤の整備等に活用されます。

■開催概要

イベント名：ユニバーサル・スタジオ・ジャパン & 三井住友カード 金融教育 & 職業体験ワークショップ
日時：2025 年 11 月 16 日（日）9:30～14:00
会場：ユニバーサル・スタジオ・ジャパン内 ステージ 33

当日は、第 1 部で三井住友カードによる金融教育ワークショップを実施。児童養護施設の退所後に必要となる金融リテラシーを学ぶためのオリジナル講座では、エンターテイナーたちも参加するなどパークならではの演出で、生徒たちは楽しみながら“お金に関する知識”を学びました。

第 2 部では昨年よりも体験数を 2 倍に増やし、各施設からボランティア参加したクルーたちとともに“職業体験プログラム”に挑戦。実際のキッチンを使って調理するシェフ体験や、迫力あるエンターテインメント・ショーを支える運営クルー、看護師や救命士の資格を持つクルーによる救護体験など、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンならではの多様なジャンルのプロとの職業体験を通じてワクワクと心躍らせながらも、真剣に仕事に向き合うことで得られる“やりがい”や“仕事の選択肢”をしっかりと学びました。

第 3 部では三井住友カード、大阪府、大阪市、堺市の施設代表者が登壇し、寄付金贈呈式を行いました。施設の子どもたちへ中長期的なサポートを行う目的として、三井住友カードが展開する「タッチハッピー」プロジェクトをユニバーサル・スタジオ・ジャパン内で初めて実施。期間中に目標である 60,000 タッチを達成し、総額 300 万円の寄付に至りました。

■開催背景・目的

児童養護施設に通う子どもたちは、施設退所後には経済的自立が求められる環境におかれることが一般的です。そのため、**退所前に「お金」の価値を正しく理解し、「金融トラブルを未然に防ぐことができる」知識を身につける**ことが求められます。

2022年4月より成年年齢が引き下げられ、18歳でも親権者の同意なしで住居を借りる、クレジットカードを作成する、ローンを組んで自動車を購入することなどが可能になりました。その一方で、悪徳商法などによる消費者被害の拡大が懸念されています。そこで**社会貢献へ積極的に取り組む両社が協働し、家族から離れて暮らす児童養護施設の子どもたちを対象に、将来必要な金融知識を身につける機会として「金融教育ワークショップ」を2023年より実施してきました。**子どもたちへの金融教育の充実を図ることで正しい知識を習得し、お金を巡るトラブルの防止を目指しています。

また、金融リテラシーを学ぶだけではなく、そのお金を得るための「仕事」について学ぶ“クルーの職業体験”プログラムも昨年から実施。**「やりがいのある仕事を通じてお金を得、学んだ知識を基に大事に使う」という経済循環を体験できるイベントとしてさらに強化しました。**

本年は内容をさらにパワーアップさせ、経済的な支援を行うため「タッチハッピー」キャンペーンも行いました。施設退所後の経済的自立が求められる大阪府の子どもたちへ300万円を寄付。自立支援や生活基盤の整備等に役立てていただきます。

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンは、今回の金融教育＆職業体験ワークショップにおいても、CSRスローガン「LOVE HAS NO LIMIT」を提唱しています。**未来を担う子どもたち一人ひとりに価値があり、一人ひとりに「NO LIMIT」なポテンシャルがあるという想いを持って、今後も子どもたちの将来の可能性を広げられる社会貢献活動を推進**してまいります。

■参加した生徒の感想

- ・「来年からアルバイトを始めようと思っているので、今日学んだ“先取り貯蓄”を実践したい」（中学3年生）
- ・「ニュースでよく聞く“闇バイト”について知れてよかった。被害に遭わないように、何かあったらすぐ周りに相談したいと思う」（中学1年生）
- ・「ショート動画を見ていたら詐欺の画面が出てきたことがある。今日聞いたポイントを忘れないようにしようと思った」（中学3年生）
- ・「食べる人のことを色々考えながら料理をつくっているんだと知った。人のことを笑顔にできる仕事って素敵だな、と思った」（シェフ体験／中学2年生）
- ・「実はアイコンタクトをよくしていると、知らなかったクルーの工夫を知れた。クルーもゲストも笑顔になっていて、見ていだけで幸せになった。やってみて恥ずかしかったけど、堂々とできるような大人になりたい」（商品販売体験／中学3年生）
- ・「興味のあったヘアメイクの仕事を体験できてとても楽しかったし、クルーの先輩がたくさんアドバイスしてくれたのでうれしかった」（ヘアメイク体験／中学3年生）
- ・「初めは難しく感じたけれど、何度も練習するうちにうまくできるようになり、本番では大成功することができてうれしかった」（ライブショー運営体験／中学2年生）

■金融経済教育セミナーについて

三井住友カードではSMBCグループやNPO法人などと連携し、小学校・中学校・高校・大学などで出張授業や金融教育イベント、シニア向けの金融教育セミナーを行っております。クレジットカードやデビットカード、

プリペイドカードなど多様化する支払い方法の特徴やしくみ、キャッシュレス社会の到来に向けた金銭管理の重要性や金融トラブルなど、世代ごとに、学校や施設側のニーズに合わせた内容で学んでいただけるよう多彩なカリキュラムをご用意しております。

三井住友カードの金融経済教育についてはこちら：

<https://www.smbc-card.com/brand/education/index.jsp>

以上